

今月の聖語

何ぞ煩わしく
わすら
他の処ところを
求めん也

日蓮聖人御遺文

守護国家論

＝失敗は貴重な宝もの＝

誰でもしくじることにはあるものです。ごめんなさいですむものならその場で解決できます。でも長い人生においては、簡単に一件落着とはいかず、落ち込んでしまうこともあります。そんな時、あなたは どうしますか。

思い出したくもない。さっさと忘れてスッキリしたい。

それも悪くはないでしょう。ただそれでは真の解決にはなりません。現実から逃避しても一時しのぎにしかなりません。それよりも、貴重な体験と見てはどうでしょう。失敗の原因を探り活かすことです。原因が分かれば失敗を繰り返さずにすむ方策が見つかるでしょう。自分一人で抱え込まず、時には同僚や先輩あるいは頼れる人に相談することも必要でしょう。こうすれば将来の自分、そして今後の人生をより良いものにできるはず。失敗は今在る自分の姿を見つめるチャンスなのです。

日蓮聖人ご遺文

『守護国家論』

『立正安国論』と共に聖人初期の代表的な著述で、末法の時代における衆生救済と国家の安泰は法華経のみに限られることを説き明かしています。

正元元年(1259)

聖寿 38 歳